

第 3 回	<p>テーマ：聴覚障害児・者の理解と心理的援助</p> <p>聴覚障害の定義を解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助について学習する。</p>
第 4 回	<p>テーマ：肢体不自由児・者の理解 1</p> <p>肢体不自由の定義、脳性まひの定義及び分類、随伴症状を解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助について学習する。</p>
第 5 回	<p>テーマ：肢体不自由児・者の理解 2</p> <p>二分脊椎および筋ジストロフィーを取り上げ、それぞれの障害の定義及び分類、随伴症状を解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助について学習する。</p>
第 6 回	<p>テーマ：肢体不自由児・者への支援</p> <p>肢体不自由児・者へのリハビリテーションの概要について、ライフサイクルの視点を踏まえながら、解説する。</p>
第 7 回	<p>テーマ：知的障害児・者の理解</p> <p>知的障害の概念に関する歴史的変遷、定義と分類について解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助について学習する。</p>
第 8 回	<p>テーマ：知的障害児・者への心理支援</p> <p>発達アセスメントや行動アセスメントの概要について解説し、アセスメント結果に応じた発達支援や心理支援について解説する。</p>
第 9 回	<p>テーマ：自閉症スペクトラム障害児・者の理解：</p> <p>自閉症スペクトラム障害の概念に関する歴史的変遷、定義と分類について解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助の概要について学習する。</p>
第 10 回	<p>テーマ：自閉症スペクトラム障害児・者への心理支援</p> <p>自閉症スペクトラム障害児・者への心理支援のひとつとして TEACCH を取り上げ、その理念や支援内容について解説する。TEACCH に含まれる構造化の技法についても取り上げ、どのように活用されているかについて紹介する。</p>
第 11 回	<p>テーマ：ADHD の理解と心理的援助</p> <p>ADHD の定義及び分類、随伴症状を解説したのち、当事者の心理特性やそれに応じた発達援助、心理的援助について学習する。</p>
第 12 回	<p>テーマ：学習障害の理解と心理的援助</p> <p>学習障害の定義及び分類、当事者の心理特性を解説したのち、特性に応じた教育的援助や心理的援助について学習する。</p>
第 13 回	<p>テーマ：病弱児・者の理解と心理的援助</p> <p>病弱の定義、病気の概要、当事者の心理特性を解説したのち、病弱児・者に対する心理的援助について解説する。</p>

第 14 回	<p>テーマ：障害受容について</p> <p>保護者の障害受容に関する諸理論の紹介や事例の提示を行い、保護者の障害受容の心理的過程についてや保護者を対象とした心理支援について学習する。</p>
第 15 回	<p>テーマ：まとめ</p> <p>これまでの学習内容の振り返りを行う。</p>
テキスト	<p>指定なし。毎回レジュメを配布する。</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>『障害特性の理解と発達援助 教育・心理・福祉のためのエッセンス』 昇地勝人・蘭香代子・長野恵子・吉川昌子（編） ナカニシヤ出版</p> <p>『障害児・障害者心理学特論』 佐藤新治・田中新正・古賀精治著 （財）放送大学教育振興会</p> <p>『発達障害と家族支援 家族にとっての障害とはなにか』 中田洋二著 学研</p> <p>他、講義中に適宜提示する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>レポートを通じて出された授業内容に関する質問やコメントについては、適宜授業内で紹介し回答を示す。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>心理学と心理的支援Ⅰ・Ⅱ、発達心理学Ⅰを履修していることが望ましい。</p> <p>障害児者に関する文献、書籍を読んだり、積極的にボランティアなどに参加することが望ましい。</p>

